



大河ドラマでも注目、平安時代の文学を研究

 さかもと のぶゆき
文学部 国文学科 教授 坂本 信道

 大胆な仮説や文学史にとらわれない視点で物語を研究
 政治や歴史背景、他作品からの影響も考慮した物語の構造分析
コメントできる
研究領域

平安時代の文学

物語文学

日記文学

写本・現代語訳本

京都女子大学は、教員の研究活動や社会連携など“社会のための女子大学”の姿をお伝えするニュースレターを発信しています。今回は、平安時代の文学(物語・日記)を専門とする、国文学科の坂本信道教授をご紹介します。

■ **2024年の大河ドラマは『源氏物語』の作者・紫式部が主人公。藤原道長との関係に注目。**

2024年の大河ドラマ『光る君へ』は、『源氏物語』の作者である紫式部を主人公に、光源氏のモデルの一人とされる藤原道長との恋愛を絡めた宮中生活が描かれます。当時の貴族にとって文芸支援は政治や権力に関わる重要政策であり、『源氏物語』は道長の庇護の元で執筆されました。坂本教授は貴族社会では主人と女房(貴族に仕える教養のある女性)の肉体関係は珍しいことではなく、道長と紫式部の間にも男女関係があったと考えています。『紫式部日記』には、紫式部を恋愛上級者と見立て「すきもの」と評す道長と紫式部の和歌のやり取りが記されていますが、実際に紫式部を「すきもの」と考える人はおらず、道長の冗談と捉えられています。しかし、紫式部の同僚の和泉式部は、『和泉式部集』で道長から「うかれめ」とされ、顔面通りの奔放な人とされています。坂本教授は、二人の女流作家の逸話を比較し道長が『紫式部日記』だけでなく『和泉式部日記』も読んでいたのではと大胆な仮説を立てています。紫式部の逸話からは冗談を言う道長と紫式部の親密さが読み取れ、加えて平安文学には庇護者である主人を風流に通じた理想の主人公と描く戦略的文芸作品もあることから、ドラマで道長がどう描かれるのかも注目されます。

■ **『源氏物語』で描かれていない光源氏の死。劇中、紫式部の生涯にどう絡め、どう描くのが見どころ。**

『源氏物語』は、様々なメディアで展開されており、現代語訳小説は谷崎潤一郎、田辺聖子、林真理子など多くの作家が著者の感性や視点から特色ある作品を生み出しています。その一人である瀬戸内寂聴氏が、テレビ番組で作品中に明瞭に記述されていない光源氏と宮中女房の肉体関係を「ある」とした発言をきっかけに、坂本教授は瀬戸内寂聴版の裏付けを試みています。ドラマで脚本家が『源氏物語』をどのように解釈し、どう影響させるのかに着目するのも面白いです。また坂本教授は、『源氏物語』の原作では光源氏の死は描かれていないため、作者である紫式部の生涯にどのように絡めて描かれるのかに注目しています。なお、坂本教授は『源氏物語』の現代語の作品について、2024年1月に福岡で開講されるカルチャー講座の講師として、作家による現代語訳の特徴をわかりやすく紹介する予定です。

■ **物語文学や日記文学など、従来の文学史にとらわれずに平安文学を考察。**

坂本教授は、物語文学や日記文学など平安時代の文学全般を研究しており、『土佐日記』の研究論文では2006年の中古文学会賞(中古文学会創立40周年記念)を受賞しています。作中の官能表現に注目し、『土佐日記』が男性の文人官僚の表現上の遊びを取り入れた上で女性視点で描かれた、二重構造の戯作だと論じました。この視点は、坂本教授が着目するまで研究者の間で見過ごされていました。坂本教授は従来の文学史にとらわれず、歴史的背景や作中の音楽、先行作品との関連などに着眼し、作品の多角的な考察を続けています。

坂本信道(さかもと・のぶゆき) Profile

<http://gyouseki-db.kyoto-wu.ac.jp/Profiles/1/0000031/profile.html>

略歴 1963年生まれ。1985年3月九州大学文学部国語学国文学科卒業、1992年3月同大学院文学研究科国語学国文学専攻博士課程満期退学。1992年度より京都女子大学短期大学部専任講師・助教授を経て、2009年4月より現職。

論文 『或作家への報告—王命婦と光源氏—』(単著/2018年/京都女子大学国文学会)

『さすらう官人たちの系譜—屈原・業平・貫之一—』(単著/2006年『中古文学』(中古文学会)78号) ※2006年中古文学会賞

『和泉式部日記』成立の背景(単著/1989年/『語文研究』(九州大学)第68号)

著書 『王朝物語のために』(単著/2022年/和泉書院)

・『土佐日記』『和泉式部日記』『うつほ物語』『源氏物語』『夜の寝覚』『在明の別』など平安朝文学の研究に関する論文集

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

・京都女子大学入試広報課 北山・堀川・竹縄

TEL: 075-531-7054 FAX: 075-531-7222

・京都女子大学広報デスク(プラザینگ・ホール内) 福嶋・小宮・井上

TEL: 06-4391-7156 FAX: 06-4393-8216

・京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp>